

### ホテル・レジャー委員会 観光・航空貨物委員会 共催

## 「MICE担当者交流会」開催報告

今回初の試みとして、ホテル・レジャー委員会ならびに観光・航空貨物委員会共催の職種別交流会を企画、実施いたしました。両業種別委員会における共通テーマとして「MICE」を切り口に、去る6月17日（火）南部労政会館にて開催をいたしました。

参加者の皆さんも前向きな姿勢で様々なアイデアを持ちかえりたいという意識が高く有意義な意見交換が出来ました。

事務局としても今回の試みをしっかり検証し、今後もより充実した職種別交流会が開催できるよう更なる運営工夫をしていきいと考えております。

#### 1. 開会あいさつ（要旨）

ホテル・レジャー委員会岡野委員長

「MICE担当者交流会は、昨年、観光航空貨物委員会の職種別交流会としてスタートし、その際にもホテル・レジャー委員会からゲストスピーカーを要請するなどし、両業種の相互協力で開催ができた。昨年の出席者からは両業種で開催を望む声が多く聞こえ、今年度開催をすることができた。この機会を有意義に活用し、それぞれの気づきを持ち帰っていただきたい」

#### 2. 情報共有・意見交換＜講演＞

##### 第一部 バイリンガル・ステージ・マネージャーから見たMICE（株式会社 ampersand 早田様）

早田様からは3つの観点からお話をいただきました。

- ①ステージマネージャーの立場から照明の工夫や講演者、通訳者のコントロールが会議運営における肝であるとし、会議運営にかかわる人を上手にコントロールことが重要である
- ②世界的に見た日本や東京のMICE開催力について触れ、競合他都市との違いや今後必要な国際意識を持つ人材育成や観光立国の意識醸成などが必要。
- ③高級貸会議室とホテルの会議室の違いについて。急な対応や、会場を知っているスタッフがいるホテルの会議室のほうが運営者としてはメリットが大きい。また、近年は貸会議室事業者側にホテルの人材が流出している。あわせて婚禮ブロックに当たらない平日のMICE利用について、特に製薬系の世話人会など小型MICEにおいて注意すべき点について言及。



##### 第二部 シーライン東京におけるMICEの取組み（シーライン東京労組 書記長 坂井様）

今期、サービス連合に新規加盟いただいたシーライン東京労組の坂井書記長より、船上でのMICEの取組みについてご紹介いただきました。近年は船上での結婚式需要が伸び悩んでいる中で、MICE需要が増え、特にインセンティブや商談会など、ちょっと変わった形で開催したいニーズにこたえられるところや、船を貸し切ることによって船自体をそのイベントに活用できるなどパーティークルーズの特徴についても触れ、また、近年はグループ案件が小型化し、大型会場についてはホテルと違い分割ができない点など

の課題もお話がありました。

### 3. 意見・情報交換

開催にあたり、事前に参加者にヒアリングシートを記入いただき、その内容に基づき6名のグループに分かれ意見・情報交換を行いました。

①MICEを取り組む事業の一つとして明確化しているか？

②MICEについて特化し対応する組織体制（営業・企画・仕入・手配等）を整えているか？

③業種に関係なく、他の参加者に聞いてみたい事など…



### 4. まとめ（要旨）

観光航空貨物委員会池田委員長

「今回もゲストスピーカーを招き、我々とは違った視点からMICEに関する課題や知恵をいただいた。また意見・情報交換では日頃相互に疑問に思っている点や、MICEという漠然としたターゲットにそれぞれがどう取り組んでいるのか、またその課題などを共有し、非常に限られた時間のなかであったがそれぞれ積極的に意見・情報交換を行え、何よりMICEという共通テーマのもと業種を越えた組織間交流が図れたことは大変有意義であった」



出席者の皆さん（敬称略）：

高野（芝パークホテル労組）、尾島（ホテルニューグランド 労組）、荒井・山浦・池谷（東京バリエルソウタカヨル労組）

小岩・山下（都ホテル 労組都ホテル東京支部）、坂井・伊藤（ソライロ東京労組）、秋山・星・中村（京王プラザホテル労組）

舟木・田中（JTB 首都圏地域労組J-ホテルズ支部）、関谷・山川（近畿日本ツリスト労組団体本部 東京支部）、後

藤（阪急阪神交通社グループ 労連）荒井（日本旅行労組）、大橋・北川（名鉄観光サービス労組）

秦・江草・伴瀬・荘司・井村・三井・星（日本旅行労働組合東日本地本）、大沢・山田（トップツアー労組）、

山田・箱守（東武トラベル労組）、

岡野・池田・関口・平松・小島・宮澤・稲吉・松本・袴田・前野・寺門（東日本地連）